

# 電験三種受験セミナー 合格特訓コース

- 科目別の受講ができます。
- 合格への実力確保を目指す方々を対象とし、問題解決への対応を指導・支援いたします。
- 演習問題を重点に、題意の的確な掌握、解法の着眼点、解答への手順など実践的な内容で対応いたします。特に理論には多くの時間を用意しております。

- 2013年度、2014年度、2015年度の電験三種試験において、オーム社セミナー受講者から毎年20余名が合格(資格取得)の栄冠を勝ち取っております。また、多くの科目合格者を輩出しています。**

## ■開催日と科目内容

科目	開催日	講習時間	内 容
理 論	3月26日(土)	9時30分～ 17時30分	理論① 電気・電子理論(その1)
	3月27日(日)		理論② 電気・電子理論(その2)
	4月9日(土)		理論③ 電気・電子理論(その3)
	4月10日(日)		理論④ 電気・電子計測
電 力	4月23日(土)	9時30分～ 17時30分	電力① 発電・変電
	4月24日(日)		電力② 送電・配電および電気材料
機 械	5月7日(土)	9時30分～ 17時30分	機械① 電気機械
	5月8日(日)		機械② 変圧器・電気応用
法 規	6月4日(土)	9時30分～ 17時30分	法規① 電気法規(その1)
	6月5日(日)		法規② 電気法規(その2)・電気施設管理

◎講習内容の詳細については、3ページめの「講義内容のポイント」をご参照ください。

- 定 員 48名(定員になり次第締め切ります)
- 開催場所 オーム社 ゼミルーム(東京都千代田区神田錦町3-1 オームビル地下1階)
- 講 師 北爪 清 氏

## ■受講料と使用テキスト

科目	受講料	書 名(いずれもオーム社発行)	テキスト価格 〔受講者割引〕
全科目	100,000円	全6点	予価 15,282円 割引価格 13,600円
理 論	38,000円	完全マスター 電験三種受験テキスト 理論(改訂2版)	定価 2,916円 割引価格 2,600円
		2016年版 電験三種完全解答 4科目共通	予価 2,592円 割引価格 2,300円
電 力	25,000円	完全マスター 電験三種受験テキスト 電力(改訂2版)	定価 3,024円 割引価格 2,700円
		2016年版 電験三種完全解答 4科目共通	予価 2,592円 割引価格 2,300円
機 械	25,000円	完全マスター 電験三種受験テキスト 機械(改訂2版)	定価 3,024円 割引価格 2,700円
		2016年版 電験三種完全解答 4科目共通	予価 2,592円 割引価格 2,300円
法 規	25,000円	完全マスター 電験三種受験テキスト 法規(改訂3版)	定価 2,700円 割引価格 2,400円
		2016年版電気設備技術基準・解釈(2月発行予定) 2015年版をお持ちの方は、それで結構です。	予価 1,026円 割引価格 900円
		2016年版 電験三種完全解答 4科目共通	予価 2,592円 割引価格 2,300円

\*受講料にはテキスト代・昼食代は含まれません。また当日欠席の場合、返金はいたしかねます。

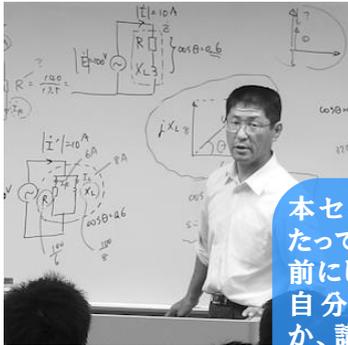
\*当講習の受講者に限り、テキスト料金を割引価格にて販売させていただきます。

\*受講料・テキストとも税込価格です。また、テキスト等送付時の送料は弊社負担です。

## 講師紹介

### 北爪 清 (きたづめ きよし) 氏

- ◎北爪電気事務所
- ◎第一種電気主任技術者免状
- ◎電気保守・メンテナンスの現場の最前線で働きながら、電験、電気工事士の資格試験指導にも注力されており、弊社においても各種セミナーの講師として活躍いただいている。その熱血指導は受講生の高い合格率として結実している。



本セミナーの受講にあたっては、ぜひとも受講前にしっかり予習して、自分の苦手は何なのか、講習でどこを克服したいかを明確にしてから臨まれることが、合格への早道になるはずですよ。

## 昨年の同講習の受講生の声 (アンケートより抜粋)



**【理論】** ベクトル図の活用など、教科書による自習では得られない解き方が身につきました。/60点をとれるように無駄を省いた講義でよかった。苦手だったベクトル図の考え方を熱心に講義してくれた。/他の学科との関連の位置づけをされて、説明していただけるのととても分かりやすくなった。

**【電力】** 本番の試験に出題されそうな問題から解説していただいたので、今後の勉強で的を絞ることができる。/出題傾向の高い問題を解きながら解説してくれた。先生の講習はとても効率がいいと思います。勉強不足でも、簡単な問題が解けるようになりました。

**【機械】** 直流機の界磁方式の違い、同期機の等価回路からのベクトル図作成等、理解を深めることができました。/テキストや問題集の解答例にとられずに、より分かりやすい解法例を教えてください、とても勉強になりました。/機械は範囲が広いので、どれを勉強して良いかが分らなかったが、的を絞ってもらい良かった。/スピード感があり、本番の時間感覚がイメージできた。

**【法規】** 苦手としていた設問を取り上げていた。朝早くから先生が、質問に対応して下さったので有難かった。/基本的な考え方を教えてもらった。まだ、勉強を始めたばかりの自分がレベルの高い講習会に参加できて良かったと思います。基本的な考え方が、なんとなく分ってきたと思います。/実務的な観点での話があり、紙面上の内容をイメージできた所が、特に良かった。/過去問の分析をもとに、出題が予想される問題を取りあげてもらい勉強になりました。

## テキストのご案内



理論



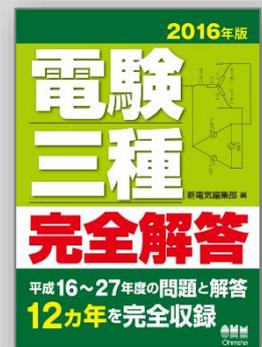
電力



機械



法規



共通

## 平成 28 年度電験三種 (第三種電気主任技術者試験) 概要

電圧 5 万ボルト未満の事業用電気工作物の主任技術者として必要な知識について、筆記試験を行います。

■試験実施日	平成 28 年 9 月 4 日 (日)
■受験申込受付期間	平成 28 年 5 月 23 日(月)~6 月 8 日(水) (インターネット申込みは初日 10 時~最終日 17 時まで/郵便振替による申込みは最終日の消印有効)
■受験手数料	インターネットによる申込み: 4,850 円/郵便による申込み: 5,200 円
■受験案内・申込書の配布	平成 28 年 5 月上旬から
■試験に関する問合せ先	一般財団法人 電気技術者試験センター 本部事務局 <a href="http://www.shiken.or.jp">http://www.shiken.or.jp</a> 電話 03-3552-7691 メール info@shiken.or.jp

# 本セミナー 講義内容のポイント

理論	重点となる講習内容
抵抗直列、並列回路 キルヒホッフの法則 ブリッジ回路 正弦波交流 ベクトル図と複素数表現 単相交流回路 電力と力率 三相交流と結線方式 三相電力と等価インピーダンス 交流の電圧・電流の測定 電力・電力量の測定  静電気の分野：クーロンの法則、電界の定義、 平行板コンデンサの静電容量、静電容量の 直並列の合成、静電エネルギー 磁気分野：直線状導体の磁界の大きさ、電流 の磁気作用、磁気回路のオームの法則、電磁 誘導、インダクタンス、電磁エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>○直流回路の直列回路・並列回路のふるまい、各種法則の解説。</li> <li>○単相交流回路では、複素数の扱い、ベクトル作図を中心に講義します。</li> <li>○テキストに収録された基本的な問題から、応用問題まで各種の解法を説明し、ベクトル図の作図をマスターしていただくことを目標とします。</li> <li>○三相交流の等価変換、等価回路についてしっかりと理解することを主力におきます。</li> <li>○等価回路では必要に応じて単相交流の扱いに戻って解説をします。</li> <li>○計測の分野は、電気回路の考え方が基本になるため、その関連性を含め応用問題の着眼点、解法について理解することを目標とします。当然ベクトル図の作図から公式の誘導についても理解をしていただくものとします。</li> <li>○各項目の重要点、公式の展開の仕方、演習問題を解説する。</li> <li>○各項目の重要点、公式の展開の仕方、演習問題を解説する。</li> </ul>
電力	重点となる講習内容
水力 火力 原子力 変電  架空送電線／架空配電線 電圧降下／電力損失 短絡電流計算／地中電線路 電線たるみ／支線	<ul style="list-style-type: none"> <li>○発電電の分野の出題傾向の確認（設備の名称、特徴、役割など暗記が多い）</li> <li>○重要項目のピックアップ</li> <li>○計算問題の演習（水力発電所出力、揚水発電、熱効率、変圧器の並行運転、短絡電流）</li> <li>○送配電の分野の出題傾向の確認（計算テーマが比較的多い）</li> <li>○公式の暗記だけでなく、公式の適用の仕方についても説明する。（電圧降下、電力損失、短絡電流計算、電線たるみ、支線）</li> </ul>
機械	重点となる講習内容
直流機 同期機 誘導機 変圧器  照明／電熱／電動力応用 電気化学／自動制御	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各電気機器の基本原理、構造等を確認し、各機器の特性について等価回路を作成し、電気回路の諸計算を行う。理論における回路の内容をしっかりと理解しておくことが必要で、必要に応じて、電気回路の内容を復習しながら進めることにする。</li> <li>○各機器の代表的なテーマをピックアップし、公式の応用についても理解することを目標とする。</li> <li>○電気応用は、各テーマの出題状況を理解し、公式の応用が主体となる。暗記した公式の適用だけでなく、適切な公式の変形、単位に配慮することなど、演習問題を通じ、考慮すべき点を明確にする。</li> </ul>
法規	重点となる講習内容
電気事業法 電気設備技術基準・解釈  施設管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>○法規の出題状況、重要項目の概要を確認していただく。</li> <li>○電技、解釈の頻出重要条項、計算問題テーマの着眼点を理解する。（絶縁耐力試験、漏えい電流、支線、B種接地抵抗値、風圧荷重、たるみ）</li> <li>○施設管理の出題テーマの確認、計算テーマの演習。（力率改善、需要率・不等率・負荷率、調整池式水力、全日効率）</li> </ul>

■本セミナーに関するお問い合わせ先■

株式会社 オーム社 セミナー業務室

TEL 03-3233-0680 / FAX 03-3291-1322 / メール : seminar@ohmsha.co.jp